



学校の教育目標
美しい心を持ち
自ら考え
たくましく実践する子

めざす学校像 「夢」と「感動」を分かち合う学校
富加町立富加小学校 校長 山田日吉

合い言葉 **みんなで どの子ども**
【 0574-54 - 3303 〒501-3305 富加町滝田 1381-1】

平成22年度PTA総会挨拶文(予定)

学校・家庭・地域の更なる連携を進め みんなでどの子ども 賢く逞しく育つような学校を創りましょう!

富加小学校の子どもたちを賢く逞しい子に!

本日は平成22年度のPTA総会を開催したところ多くの保護者の方が参加くださりありがとうございました。ありがとうございます。またご来賓の町教育委員会教育長山田孝幸様におかれましては、ご多用の中おいでくださり誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。



私からは三つの話をさせていただきます。

1つ目は、年度当初の本校の様子についてです。

本年度、本校は43名の新生と9名の教職員の転入がありました。全校児童数は286名、全教職員数は29名 合計315名でのスタートです。また、新しくなかよし2組が出来、全部で13学級です。

おかげさまで新生も新しく転入した職員も学校にとけ込み、各自その力をよく発揮し、エネルギーに新しいスタートができました。その結果、本年度の歩み出しは大変順調に進んでいます。子どもたちは毎日元気に精一杯小学校生活を送っています。

1年生たちも毎日元気に登校しています。朝校門で子どもたちを迎えると心なしか昨年より大きな声で元気なあいさつをしてくれる子が増えたように感じています。6年生の子たちがボランティア活動で今年も、校門と2箇所の児童玄関で挨拶をしています。また、昨年学習したピア・サポートの成果を生かし、まだ学校に不慣れな新1年生に対して様々な心配りをしながら毎日の通学を支えてくれています。更に、伝統になっている休み時間の外遊びも、天気の良い日は多くの子が先生と一緒に運動場で元気に遊んでいます。

教室での勉強する姿もとても良く、感心すると同時に嬉しく思っています。これらすべては本校の教職員の寝食を忘れた指導の賜・そして保護者のご理解とご協力の賜だと感じています。私はこの学校の教職員と児童・そして保護者の皆さんや地域の方々を心から誇りに思っています。どうかこれからも富加小学校を支えていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

2つ目は、本校の教育構想と新しい動きについてです。

【資料1 教職員に向けて】

めざす学校像
「夢」と「感動」を分かち合う学校
みんなで どの子ども

そのために

- 1 絶えずチャレンジする教師になろう
— 今までどおりは退化 —
- 2 学ぶ姿勢を持ち続ける教師であろう
— 学校・地域は教師にとって学びの場 —
- 3 教育の原点を大切にする教師であろう
— 命と魂を大切にする —
- 4 地域と共に生きる教師であろう
— シンク・グローバル、アクト・ローカル —

私は本校の学校教育目標「美しい心を持ち自ら考えたくましく実践する子」を達成するためにめざす学校像を掲げ教職員に示しました。(資料1)また、そのために何をどう実践するのかを構想図として示しました。これは本日会場で配布しましたし、既に校報「半布里1号」にも示しましたのでご存じだと思います。

私の教師としてのこだわり・理念はキャッチフレーズの「みんなでどの子ども」に表しています。これは私が言い続けていることでもあります。また、始業式には子どもたちに向けて1年間心がけて欲しいことを三つ伝えました。(資料2)言ってみればこれらが私の校長としてのマニフェストです。このこともこの4年間変わっておりません。私は絶えずこの視点で、教職員と子どもたちに接してまいります。

さて、いよいよ来年度平成23年度から、新しい学習指導要領による授業が始まります。文部科学省は平成21年度から2年間を移行措置期間と位置づけ、この新しい学習指導要領による教育課程の編成について準備するよ



学習指導要領がわかります
平成21年4月から、幼稚園、小学校、中学校で、
新しい教育内容がスタートします

うに指示しました。これを受けて本校でも、平成20年から各教科の指導計画を見直し、改訂する努力をしてきました。既にマスコミなどでこの学習指導要領については再三報道されておりますのでみなさんご承知の事と思います。

みなさん覚えておられますか？2年前の平成20年のこの場で文部科学省から配布された「生きる力」という小冊子をお渡しし新学習指導要領の基本的な理念、考え方について説明しました。このパンフレットには、昨年度から一部前倒して実施される内容など学習指導要領の改訂のポイントも説明されていきました。出来れば再度熟読していただきご理解していただきたいと思ひます。尚、本校におきましては、先生方のご努力により、昨年度大幅に教育課程を改訂したことにより、本年度特に改訂することはありません。昨年通りの教育課程のままに対応することが出来ます。また、この3年間大切に出来た「英語活動」「読書指導」についても引き続き力を入れよりよいものとしていく覚悟です。更に、こだわり活動である「挨拶」「歌声」「掃除」についても「気持ちの良いあいさつ」「明るい歌声」「ピカピカ掃除」として引き続き大切にしていきます。

このように、本校は昨年度までに築いてきた成果を更に充実させることが今年度の一番の課題だと考えております。どうか保護者の皆様におかれましても、本校の今年度の教育活動・PTA活動について、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

資料2 子どもたちにに向けて
始業式に子どもたちに話した
一年間心がけて欲しいこと
1 最後までではなしをきちんと聞く
2 気持ちをきちんと話す
3 仲良く元気に遊ぶ

3つ目は子育てについてです。

子どもたちの家庭での様子はいかがですか？

井戸新会長さんは今年のPTAスローガンを「見守る心と信じる瞳 地域が支える親子の絆」とされました。とても素晴らしいスローガンだと思います。子どもたちと日々接していると子どもたちの不安や悩み、そしてストレスの大きさにハッとすることがあります。その背景には保護者のみなさんが忙しすぎて、子どもたちの日々の暮らしの中で「話を聞いてもらえていない不安」や「かまってもらえない不満」があるのではないかと思います。だから私は、今こそ、正面から子どもと向き合いたいと思ひます。また、保護者や家族だけではなく、子どもたちに関わっている全ての人が「みんなで どの子ども」大切にできる地域ぐるみの子育てが必要だとも思ひています。このスローガンは正に私の思いと一致するものでとてもうれしく思ひています。是非皆さんにはこの今年度のPTAスローガンを各自で唱える共に、意識していただきたいと思ひています。

また、「子育ての知恵」を人生の先輩達から学ぶことも大切だと考えています。本校の見守り活動をしてくださっている多くのお年寄りの方々から、皆様へのアドバイスも沢山頂いています。

いわく、「朝、親が挨拶しない。」「良かれと思ひ、子どもの事を知りたくて、いろいろと聴くと『プライベートなことに口を挟むな』という親がいる。」「子どもの安全を考えて、下校に付き添っているのに、挨拶や訳も言わず、黙って子どもを連れて行く親がいる。どこの誰で、何のために子どもを車に乗せていくのか。ひと言でもいいので言って欲しい。連れ去りなのか心配でかなわん。」などの声が寄せられています。このような声について、よく考えて欲しいと思ひます。子どもは、保護者だけのものではありません。地域の宝、人類の宝でもあります。私達の未来を託す存在でもあります。

難しい時代だからといって、手をこまねいて流されるのはやめましょう。学校・家庭・地域が真に子どもたちの幸せを願って、手を携えて、理想を高<持って、それぞれが責任を持ち、共に歩みたいと思ひます。まさに「みんなでどの子ども」です。

私たち教職員も全力で子どもたちの豊かな未来のために奮闘する覚悟です。どうか、どうか今年も富加小学校の子どもたちをよろしくお願ひします。



ゴールデンウィークが始まります

毎年この時期に悲しい事故が多発しています。お子様の安全には十分注意し、みんなで子どもの生活を見守りましょう！

- ■ ■ ■ ■ に ■ を つ ■ ■ ■ ■ ■
- ・ ヘルメットを必ずかぶりましょう ・ 交通ルールを守りましょう
- ■ ■ ■ ■ に ■ を つ ■ ■ ■ ■ ■
- ・ こどもだけで川に遊びに行かないようにしましょう
- 3 ■ ■ ■ ■ ■ に ■ を つ ■ ■ ■ ■ ■
- ・ 知らない人について行かないようにしましょう